

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月7日

派遣決定番号 K275

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

|       |                        |         |              |
|-------|------------------------|---------|--------------|
| 団体名   | 名護市役所                  | 代表者名    | 渡具知 武豊       |
| 担当者部署 | 商工観光局                  | 連絡先電話番号 | 0980-53-7530 |
| 担当者役職 |                        | 担当者氏名   |              |
| 住所    | 905-8540 沖縄県名護市港1丁目1-1 |         |              |

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー                      | 木暮 祐一   |
| 評価                          | 大変よい  |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 青森での地域活性化の実績もあり、人脈が広い。そのため多くのアイデアを出すことができる。大学の教員であり、大学と企業の連携についても長けている。今回は、名護の実情を調査し把握することが目的であったが、名桜大学との連携について、いくつか踏み込んだ提案をしていただくことが出来た。 |
| アドバイザーへの要望事項                | 今回は、ヒアリングやミーティングをの結果をもとに。提案書の作成をお願いしたい。   |

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

|           | 派遣日        | 開始時刻          | 終了時刻   | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|------------|---------------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動   | 2019年11月1日 | 10時00分        | 17時00分 | 0:00     | 360     |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名        | 名護市役所、ゆがふいん   |        | 最寄駅      | 那覇空港駅   |
|           | 所在地        | 沖縄県名護市港1丁目1-1 |        |          |         |
|           | 最寄駅からの交通手段 | バス            |        |          |         |

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

|  |   |     |
|--|---|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者                                   | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】   | 人数  |
|  | 名護市、名護市企業5社、名桜大学、沖縄高専   | 18人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 |   |     |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)                            | 人材の確保が事業継続に関わる最重要課題であることが各社共通事項であった。現在は募集しても応募が殆どない状態である。応募があってもスキルが合わない。新卒採用に方針転換をしたが、知名度もない、特区自体が学生・教員に知られていないため、学生の応募も非常に少ないのが現状である。大学とも連携をしたいが、どのように連携をすればよいか分からない。また1社だけで取り組むのが厳しい状態にある。 |     |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)                           | 特区の認知度を上げるために、まず名桜大学と連携して、講座や交流イベントを行う。今回、名護ゆがふいんに初めての本格的なコワーキングスペースがオープンしました、ここを活用し北部でのテレワーク推進のためのセミナーを実施したいと考えます。   |     |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)                      | 名桜大学にて、特区企業が連携した取り組みの第一弾として、特区企業と県内企業の連携による講義の提案をいただいた。名桜大学での講義シラバス案を作成してもらい、名桜大学に提案いただいております。今後は、特区企業と名桜大学の連携の枠組みを拡大し、名桜大学内に特区企業の人材が常駐できるICTセンター(仮)を設置し、スムーズな連携と、人材の育成を行えるように体制を整えていく方向です。   |     |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 支援を受け改善又は解決された内容<br>(具体的にご記入下さい)                            | <p>特区企業、県内企業が名桜大学と連携し、特区、企業の学生へのアピールや人材を育成していくという枠組み作りを、大学の教職員にも協力いただくことになった。</p> <p>これまでも企業単独で大学と連携講座などを行い、市が支援して、採用に繋がることもあった。今回は、名桜大学と特区企業、県内企業の地域連携という枠組みになり、本来の地域連携に近づきつつある。</p> |  |
| 具体的な成果物   | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。   | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない<br>ヒアリングをもとに、提案書を作成中です。名桜大学にも連携の枠組みを打診中です。 |
| 改善又は解決されなかった内容<br>持ち越しとなった内容<br>(具体的にご記入ください)               | 1回目はヒアリングによる現状把握であり、持越しはありません。名桜大学との連携も予定よりも早く立ち上がりそうです。  |  |
| アンケートの内容と分析結果   | <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回は事前にヒアリング項目のみを事前に伝え、当日、フリーディスカッション形式で実施しました。</p> |  |
| 5-3. 今後の計画  | 最も当てはまるものをリストより選択下さい  | ④予算以外で、今後取組む事項がある  |
| 事業の最終的な目指す姿   | <p>①名桜大学との地域連携による特区企業の認知度のアップ</p> <p>②特区企業の名桜大学学生の就職応募者数のアップ</p> <p>③名護での産官学連携による人材育成のあり方についての案作成</p>   |  |
| <b>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子</b>                                  |   |  |
| 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。 |   |  |
|   |   |  |